



HI-  
CS

紫

盛



カク

ごめんなさいね  
待たせちゃって

結界の修復で  
遅くなつて  
しまったの



で…でも  
紫ちゃん…？

その体格は……



じゃあ  
早速……

しましろう  
か♡

あら

小さい身体は  
お嫌い？

いや  
嫌いじゃない  
けどさあ

俺にガキいるの  
紫ちゃん  
知ってるだろ…？

でしたら  
あなたの精子  
早く  
くださらない？

大きくなるのに  
必要なの

ほうら

違いがわかる  
でしょう？

こうやって  
寄り添うと

未発達の  
おっぱい

小さく閉じた  
お〇んこ……

挿れたい  
でしょう？

だしたい  
でしょう？

この精液  
タンクから

精子を  
私のなかに

びゅうりゅう

って



でもさあ…  
紫ちゃん？

ウチのガキも  
そろそろこれ位の  
背丈になるんだ  
よねえ

さすがに罪悪感  
つてもんがさ…っ



さびしい…!!

手も休んでは  
いけませんわ

ちやあんと  
ほぐして  
いただかないと

この身体じゃ  
おち○んちん  
挿入りませんわ…

無粋な事を  
考えるものでは  
なくてよ…っ

ほらあ  
もつと吸って!



上手よ……っ

あつ

そっつ

お豆もつと  
つよく吸い上げ  
てちようだ……

大洪水つてくらい  
蜜垂れ流し  
ちやつて……

あ……

紫ちゃん  
お〇んこ  
すごいねえ……

こんな淫らなの  
見せられちまつたら  
ガマンできねえ……

そう……

じゃあ  
えつち

しましよっ  
か……っ

はあ









ま〇こに  
チ〇ポ  
引き抜かれそうだった



おおう……っ



たまんねえっ!

抜いたの  
解放感とっ

挿れたときの  
窮屈さが交互に……

そうっ

うれしいわっ



よおし……  
好きなように  
動いていいな?

お好きな  
ように……

動くの……変わって  
いただける  
かしら……?



……少し  
息が切れたわ





紫ちゃん生射で  
イッチャった？

ふうー！  
…あれ

うるひやい……  
だあら……つよすひる  
ってえ……っ

—んもう

まだヒリヒリ  
してる…

でも一杯  
射精されて  
気持ちよかったろ？

ほら  
まだこんなに  
溜め込んでさあ

うるさい

カミさん所に  
帰らねえとな

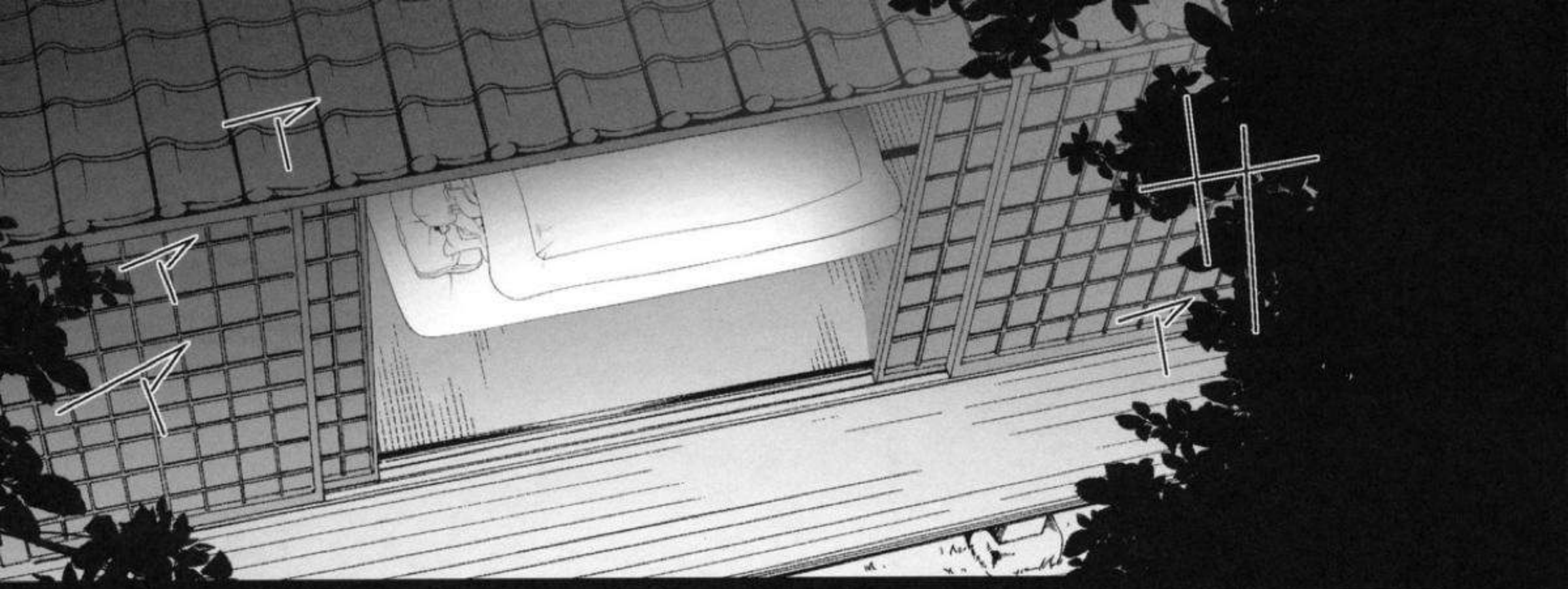
—おっと  
そろそろ時間か

そうね…

！



TUK I BUTO



ゆっかり  
ちやあーん

今日も宜しく  
ねえ〜♪

わがわが  
ららら



っ!  
!



は…

私…

馬鹿だわ…



カミさんの所に  
帰らねえとな



る

イヤですわ

私今日は  
疲れてるの

えー  
でも紫ちゃん  
コレ好きだろ？

いつもなら  
悦んでして  
くれるのに

あ…

あれは  
妖力回復の為に  
しかたなく……

う……う……

雄臭い  
そそる香り……

仕様が  
ないわね……

おしやぶりは  
疲れるから  
無理だけれど

お口  
開けとく  
から

だせば飲んで  
さしあげても  
いいですわ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

ほらア  
早くしないと  
閉じるわよ？

あつ  
後もうちよい！

あつ  
あつ  
あつ

ああ早く欲しい  
はやくう…

でっ

射精るうっ！！

あ…は

きたあ♡

ああ…

すごく濃い…

深い…  
濃い精子…

美味しい…♡





いーの  
いーの

そこまで  
するとは  
言って…

紫ちゃん  
疲れてん  
だろ？

俺が勝手にやって  
勝手に終わっとく  
からサ



は…

……

ちよ……っ！



あー  
やわらけー

紫ちゃんの子供産んだら  
こんな極上のおっぱい  
吸えるんだよなあ

貴方だって…  
よく吸ってる  
じゃない…っ



ふうー  
でたでたあ

もう…

どれだけ  
溜めてた  
のよ…



う……お

も……でるっ!



だつてさあ

カミさんが  
ガキの面倒に忙しくて  
やらせてくんねーんだ  
もん

ちよつと…  
もう無理ですわ  
私疲れて  
ますの！



いいじゃん

俺  
紫ちゃんの事  
好きだよ？



それとも紫ちゃん  
俺のこと…

嫌いななの？

うおお...

ま○この  
ほうから  
吸いついて  
きやがる...っ

触っても  
ないのに  
ピチヨピチヨで  
もしかして  
俺のこと考えて  
一人戯びでも  
してた？

否定  
しないんだ

えっ？  
や...ちがつ



そりや  
そうだからなあ

紫ちゃんは  
余所の女の旦那に  
すぐ股開く

淫乱大妖怪  
だもんねえ

そんなこと…  
な…いつ

へえ  
そうなんだ

女チ○ポこんな  
ピンピンにしといて

淫乱じゃ  
ないんだあ

あ…ダメ…  
えっ

優しく  
さわっ





淫乱じゃない  
妖怪が

豆チ○ポ  
つねっただけで  
潮噴くのかあっ？

んんん  
なにがア？



あら  
もうイクんだあ



なら俺も  
淫乱ま○こに  
たっぷりとオ

射精すぞっ

射精すぞっ！



子種汁  
受けとれっ

イ  
キ  
中

あ

あ

あッ

ま

あ



あッ

ま



すること  
したし  
帰るわ

——じゃあ

結局  
最後まで……

あ……っ



ん——？  
紫ちゃん  
何か  
言ったあ？

——貴方が  
よければ



貴方さえ  
よければ

いつまでも  
此処にいて……

なんでも  
ないわ

またね……



## -氷樹一世-

はじめまして氷樹一世です。  
はじめましてではない方も氷樹一世です。

この度は「紫盛り」を手にとっていただきありがとうございます。  
昨年から計画していたものがやっと出せました。  
表題の通り今回の本は  
ネタ出しの部分で自分以外の方が関わっています。  
ゲーム仲間兼事務兼売り子のCpt:Sakata君です。  
主にペドいゆかりんパートのネタ出しを協力してもらいました(\*'ω'\*)  
ごちそうさまでした。

## -Cpt:Sakata-

当サークルの新刊を手にとって頂き有難うございます。  
売り子時々雑務役のCpt:Sakata三等兵です。

「三冊目だしゆかりちゃん本にしたいが大人ゆかりんも描きたい、おっばいはせいぎ」  
「なら両方描けば問題ありません大佐、ちっばいはこわくないよ」  
と概ね上記のような会話の流れで今回の本が生まれました。  
ほんとうです。

皆様の意見が何よりの励みになりますので  
これからも濃厚な愛と欲望を我がボスに注いでくださいませ。

---

という、とりとめも無くなったこの辺で  
今回もおいとまさせていただきます。

## 氷樹一世

---

### HICS-紫盛り

サークル名:TUKIBUTO

(<http://www.h4.dion.ne.jp/~tukiyo-b/>)

作家名:氷樹一世

印刷:サンライズ パブリケーション

発行:2011年8月13日 コミックマーケット80

ご意見ご感想はこちらまで▼

nightmoonfight@k6.dion.ne.jp

HI-紫盛り  
CS

Hyoujyu  
Issei

Cpt:  
Sakata



TUKIBUTO PRESENTS  
2011 SUMMER

